

ねん かつ  
2013年9月

れき し  
歴史 — No. 7

# けんぱくものしりシート

## こん し きんぎん じ こうしよ いっさいきょう 紺紙金銀字交書一切経



じつぶつ くに へいあん じ だいこう き ゆい ま きつきょう かん げ  
・実物 国宝 ・平安時代後期 ・維摩結経巻下

しよぞう ちゅうそん じ だいちょう じゅいん じつぶつ いわて けんりつはくぶつかん ふくせい  
・所蔵 中尊寺大長寿院 (実物)、岩手県立博物館 (複製)

たて ぜんちよう しすう まい  
・縦24.2cm、全長898cm、紙数17枚

ふじわらきよひら ほつがん つく  
・藤原清衡 (1056-1128) の発願によって作られました。

\*-\*



いっさいきょう だいぞうきょう しゃかさま はな こと  
●一切経 (=大蔵経) は、お釈迦様が話した事をまと

めたものでお経の全てについて書かれている書物です。

きよひら おさな ころ いくさ しんぞく ちちおや つま こどもたち ころ  
●清衡は、幼い頃から戦でたくさんの親族 (父親や妻や子供達) を殺さ

れました。その他にも多くの命が奪われました。

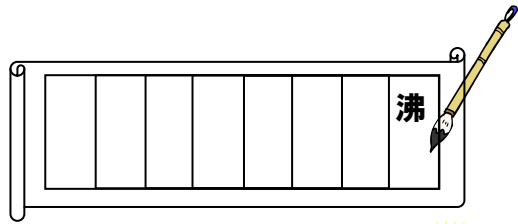
きよひら な すべ ひと いもの くよう よ じょうど  
●清衡は、亡くなった全ての人や生き物を供養するために、この世の浄土

(仏様の住む清らかな世界) を作ろうと考えます。そのために必要な事

のひとつとして、京都にも劣らない一切経を作ろうと考えたのかもしれない。

## つくりかた

- ① 紺紙に銀で線をひく。
- ② お経を書き写し、絵をかく。
- ③ 文字に間違いがないかチェックをする。
- ④ 文字が乾いてから、イノシシの牙などで磨いてつやを出す。
- ⑤ 輝きを長もちさせるため、銀字の上から牛乳をぬる。
- ⑥ 表紙やひもなどをつけ、表にお経の名前をつける。



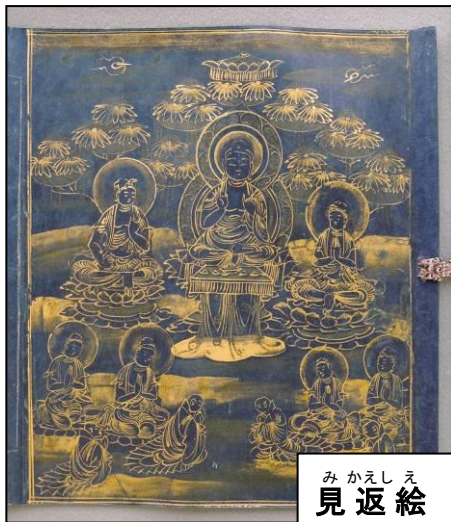
金や銀



イノシシの牙

⇒現在の奥州市江刺区岩谷堂増沢にあったとされる

益沢院などでおこなわれました。



見返絵

## ここに注目！！

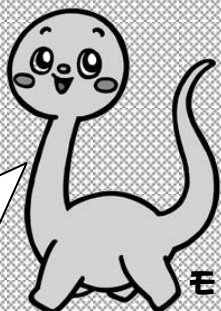
- 紺紙に金字や銀字がよく映える。
- 見返絵には、お経の内容の絵がかかっている。
- 現在、和歌山県の高野山金剛峯寺に4,296巻、大阪府の観心寺に166巻、中尊寺に15巻が納められています。

一切経を写経することは、完成まで莫大な費用と時間がかかるため極一部の権力者にしかできないことでした。しかし、清衡は金・馬・漆などの特産品で莫大な財産を築きましたので、京都にも無かった「紺紙金銀字交書一切経」5,300巻を作ることができたのです。

【解説員 筒井智子】

参考にした本 『図説 平泉 浄土をめざしたみちのくの都』大矢邦宣 2013年  
『奥州 藤原氏五代 みちのくがひとつになった時代』大矢邦宣 2002年他

来月(10月)の  
けんぱくものしりシートは  
民俗一だよ！  
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>